



シルバー人材センター  
キャラクター「チエフクロ」

高齢者が働くことに生きがいを感じ、地域社会に貢献する

VOL. 14

平成30年8月1日号

NARITA

# 銀のたまご



特集 シルバー除草班

## 雑草退治はお任せください

公益社団法人 成田市シルバー人材センター

特集 シルバー除草班

# 雑草退治はお任せください

シルバー人材センターが行うさまざまな職種の中で、代表的な仕事が草刈りと植木の剪定です。今回は皆さんに一番身近な存在といえる「除草班」をご紹介します。



## 大変な土地の管理

土地を所有している人の共通の悩みといえば「雑草処理」ではないでしょうか。自宅の敷地はもちろんのこと、空き地や耕作しなくなった田畑などは夏になるとあっという間に草で覆われてしまいます。

庭の草取りでも大変ですが、広い土地は草刈り機械でもないと管理は難しく、放っておくと近隣に迷惑をかけることにもなりかねません。特に最近は市街地の空き地や空き家の不適切な管理が社会問題にもなっています。また、高齢化により自宅の敷地の管理もできないといった家庭も増えています。

このような雑草処理に関する依頼にお応えしているのが、シルバー人材センター「除草班」です。一般家庭の草取りから公園や公共施設敷地の除草、休耕田畑や空き地、墓地に至るまで、あらゆる除草をお引き受けしています。

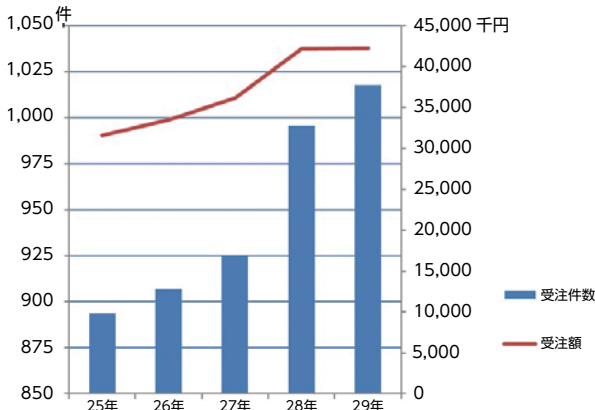
## 会員の豊富な経験を活用

シルバー事業は高齢者の就業による生きがいづくりを主な目的としています。除草班もまた、会員の能力を生かし地域社会に寄与することを目的として活動しています。

現在の除草班の会員は男性36人、女性16人、合わせて52人で構成されています。会員は当然60歳以上です。から入会後の経験年数に限れば平均で7年ほどですが、ほとんどが農家に居住しているため、自宅での「除草の経験年数」は40年以上の人ばかりです。このような会員の豊富な経験を活かし、年々増え続ける除草の依頼に応えています。



除草の受案件数と受注額



## 体力に応じた就業体制

シルバー人材センターでは、会員の体力などに配慮し、就業は土日祝日は休業としています。除草班もこのルールに従って就業していますが、雨などで順延となったものについては、止むを得ず休日に作業を行うこともあります。

この他、夏休みとして8月11日からお盆を挟んで19日まで休業し、正月休みとして12月22日から1月15日も休業としています。

除草班ではこのような就業体制を取っていますが、年々増加する除草依頼に対し、会員の確保が追い付かないのが一番大きな課題となっています。

## 自主運営で効率的に

シルバー人材センターでは、通常事務局が就業先との交渉や仕事の紹介を行っていますが、除草班ではこれらの業務の一部を自分たちで行っています。

自主運営に移行する前の除草作業については、センターに臨時職員を置いて、下見や見積もりなど作業に付随する業務を行っていましたが、平成25年4月からは除草班でそれらの業務を行い効率的な就業につなげ



仕事の配分などを決める班長会議(センターで)

ています。

除草班では各会員の経験年数などを考慮し、A班、B班、大栄班の三班に分けて活動しています。

これにより、就業先の地域や近隣に住む会員で対応しやすくなり、仕事の効率が上がるだけでなく、交通費などの経費節減にもつながっています。

また、面積の大きな現場は10人以上で行うこともあり、班で対応することにより人員の配置や連絡もスムーズに行うことが出来ます。

## 除草班から

## 利用者の声



体調に気を付けて作業しています

木村 秀男 班長

シルバーに入会して良かったことは、新しい仲間ができたこと。様々な話を聞くことができ新鮮で楽しく、新しい発見の日々です。

リーダーとして気をつけていることは「健康で怪我なし」。暑い日の屋外での作業はこたえます。休憩時間や昼食時には、皆で集まって楽しく団らんしながら会員の体調を気遣ったり、会員相互のコミュニケーションを図ったり、楽しい雰囲気作りが心掛けています。お酒も大好きなので会員同士で懇親会なども開いていますが、翌日の就業に支障のない程度に楽しく騒いでいます。

自分でも満足のいく仕事ができ、それをお客様から褒められたりすると、なお一層また頑張ろうという気持ちになります。



もう10年以上のお付き合いです

新島 ヨシさん (大清水)

家の庭に畑があったのですが、主人も息子も何も作らなくなったら、雑草だらけで大変なことになってしまいました。そんな時、広報なりたを見て知ったシルバー人材センターに草刈をお願いすることにしました。それからもう10年以上のお付き合いです。

草を刈る範囲は畑以外の場所もありますが、会員の皆さんはこちらから特別にお願いをしなくても、今どこを刈ればいいのかを的確に判断して、「あの場所やったから」などと報告があり、その気遣いに感謝しています。ご近所さんとの会話の中でもシルバーの人たちの話題がでることもあります。たまに近所の方が草刈りをやってくれることもありますが、これからも親切で気心の知れたシルバー会員の皆さんにお願いしたいですね。

特集 シルバー除草班

# 安全就業でサービス向上

## 技術と接客を講習

除草班ではサービス向上と会員の技術の向上を目指し、接客や刈払機の取り扱いなどの講習会を行っています。対象となるのは主に新入会員で、講師には除草班の担当理事と安全・適正就業委員会の委員が当たります。

講習では、刈払機の基礎知識や安全対策についての座学を行い、その後空地での実技講習を実施してい



刈払機の実技講習(久住中央で)

ます。実技では、実際に刈払機で草を刈り、技術的指導を行うほか、防護ネットやピンポールの使い方についての説明もあります。

## 8割がリピーターに

センターの除草作業は、経済的なことに加え高齢者ならではの丁寧な仕事ぶりが多くの市民の皆さんに浸透したせいか、新規利用者の8割がリピーターになられています。

毎年センターが実施している顧客満足度調査でも、「作業の出来には満足している」「今後も利用したい」との回答が9割を超えています。「丁寧なやっていただき有難うございました」「見積時と一部食い違いがあった」「仕上がりをみて、下地が見えてまばらな部分があった」といったご指摘もいただいています。

除草班では、全ての利用者に満足してもらえよう、これらのご意見ご指摘を参考に、作業についての見直しや改善を行うとともに、より一層の安全就業を目指して行きます。

## 事故対策

### ■撲滅への取り組み

除草作業の9割以上は刈払機を使用していますが、金属製の刃を高速回転させて草を刈るため作業には危険を伴います。そのため、全国のシルバー人材センターの就業中に起きた事故で、最も多いのが除草作業中の刈払機によるものです。

除草班でも、作業中の人身事故こそありませんでしたが、刈払機による物損事故がたびたび発生していま



飛石防護ネット

した。特に「飛び石」による建物や車のガラス破損が多く、安全就業を第一とする本センターとしても最も力をいれて取り組まなければならない問題でした。

除草班ではセンターの安全・適正就業委員会と協議を重ね、防護ネットの使用や事前の安全確認、徹底、安全講習会の開催などの対策を実施し、事故撲滅に取り組んだ結果、29年度の「飛び石」による事故は0件となりました。

### ■会員も独自に対策

刈払機による事故を無くそうと、自ら器具に改良を加え安全就業に努めている会員もいます。

写真は、刈払機の回転刃の上に金網を取り付け、小石の跳ね上がりや横飛びを防ごうとするもので、材料も安価なことから実用化が期待されています。

事故撲滅は会員の安全な就業を守るだけでなく、サービスの向上にもつながる重要課題であり、これからも班をあげて取り組んで行きます。



木村会員の改良カバー

## 仕事の依頼はお早めに

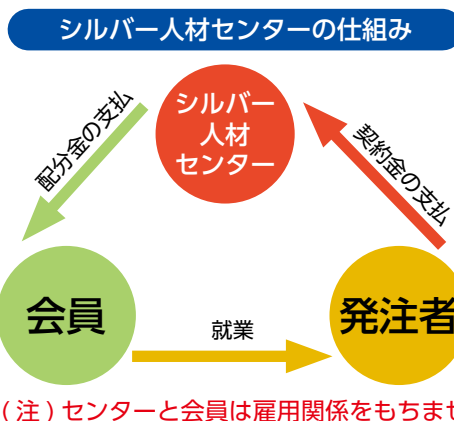
自主運営といっても、全ての業務を除草班だけで行うわけではありません。皆様からの除草の依頼を最初にお受けするのはセンターの事務局で、そこで受注した内容を除草班に伝えます。この後の人員配分、下見打ち合わせ、見積もり、除草作業、完了報告までが除草班の仕事となります。

除草業務は一般家庭だけでなく企業からの依頼も多く、しかも草の出る時期が一緒ですから夏場の最盛期などは作業が追い付かなくなることもあります。

除草作業は外の作業となるため雨などで予定通り就業できないこともあります。ですから、シルバー人材センターの利用を予定されている方は、なるべく早めに申し込みをされることをお勧めします。



まずは事務局へご連絡ください



## 除草会員を募集します

楽しい仲間と仕事をしませんか。条件は、屋外作業のため身体が丈夫

お引き受けした仕事は、除草班員が責任を持って完了させますので、安心してお任せください。会員の生きがいがづくりを目的としているため、低料金で仕事をお受けしています。除草のことでお困りの方は、今すぐセンターへご相談ください。

このほか成田市が実施している空き家管理対策事業についての除草作業についてもお引き受けしていますのでお問い合わせください。

また、同じく市の「ふるさと納税」の返礼品として、お墓の草取りや清掃も行っています。

## 除草班 ボランティア活動

除草班ではシルバー人材センターの仕事だけではなく、保育園、小学校、中学校などの除草作業ボランティアも行っており、多くの会員が参加しています。

特に学校でのボランティア活動では、除草班以外の会員や、PTAの皆さんなども一緒に刈払機を使って除草作業をしますが、<sup>つみやま</sup>築山の芝生や<sup>のり</sup>法面など難しい場所のほとんどが除草班員に任されています。

例えば刈払機で芝生を平らに刈ることは意外に難しく、誰でもできるというものではありません。こんな時に頼りにされるのが除草会員の日

頃身に着けた技術で、ほかの参加者が敬遠する難しい場所でも、限られた時間のなかで、スピーディーかつ丁寧に草刈を行っています。仕上がりはもちろんきれいで素晴らしく、ボランティアに伺ったところから感謝の言葉をいただいています。



で体力のあることが第一です。暑い夏場が仕事の最盛期なので暑さに強い人が向いています。草刈に必要な道具は全部個人で用意していただき運搬に軽トラックが必要になりますので、所有している人は大歓迎です。

また、主に女性を対象とし、鎌を使った草取作業が出来る人も随時募集しています。

入会を希望される人はシルバー人



材センター事務局(☎0476・361661)へご連絡ください。

# 平成30年度定時総会

## 新役員が決まりました

### 新理事長に下村氏を選出

公益社団法人成田市シルバー人材センターの平成30年度定時総会が6月18日(月)午後2時より成田市保健福祉館多目的ホールにおいて小泉一成成田市長、伊藤竹夫成田市議会議長、谷平稔成田市高齢者クラブ連合会長、高田順一福祉部長のご臨席をいただき、委任状を含めた会員395名の出席のもと開催されました。

市議会議長よりご祝辞をいただきました。

続いて定款第16条の規定により下村理事長が議長に選出され、平成29年度の事業報告を行いました。その後、提出された3議案は出席会員多数の賛成によりすべて原案のとおり可決されました。

また、議案2号によって選任された新理事により臨時理事会が開催され、新理事長に下村精哉氏が再任されました。

### 新理事は13人に

新理事のうち8人は新任で、3人が女性です。前任理事より女性が多い人となりました。また会員ばかりではなく、関係団体(成田国際空港振興協会)からも理事を迎え13人が新理事として事業および組織運営を行っていきます。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 理事(再任)   | 下村 精哉     |
| 副理事長(新任) | 岩 館 利成    |
| 常務理事(新任) | 藤 崎 勇一    |
| 理事(新任)   | 木 村 秀男    |
| 理事(再任)   | 後 喜 多 利一  |
| 理事(再任)   | 諏 訪 峰 雄   |
| 理事(新任)   | 竹 内 芳 子   |
| 理事(新任)   | 橋 本 敬 一 郎 |
| 理事(新任)   | 古 川 順 子   |
| 理事(再任)   | 堀 江 道 子   |
| 理事(再任)   | 牧 野 春 雄   |
| 理事(再任)   | 山 田 宗 光   |
| 理事(再任)   | 吉 田 昭 二   |
| 理事(再任)   | 飯 田 幸 雄   |
| 理事(新任)   | 窪 木 克 好   |

任期は平成32年6月までです。よろしく願います。

※6月に行われた千葉県シルバー人材センター連合会総会において下村理事長が同連合会会長に、また全国シルバー人材センター事業協会定時総会では同協会監事に選出されました。

## 新任あいさつ



理事長  
下村 精哉

引き続き理事長の任を担うこととなりました。

労働人口の減少が進む中、サービス業等人手不足分野、現役世代を支える介護・育児等の分野に於いて高齢者が地域社会の支え手として活躍することが求められています。岩館副理事長共々、理事、監事、各分会、委員会の皆様と職員の連携を密にして、会員の皆様の協力を得て会員数の拡大、就業開拓、安全就業の徹底に努めるとともに、その他の課題にも精一杯取り組んでゆく所存です。

これからもよろしくお願い致します。



新理事13人の紹介



たくさんの会員が出席した定時総会

## 会員の声

### 「役立ちがい」を求めて

西村 久さん



わたしはシルバーに入会して6年になります。きっかけは定かではありませんが、退職して半年後に入会していることから、ブラブラしているのに飽きて、何か生活に変化を求めていたのかもしれない。

シルバーでの就業は、不定期に依頼を受ける簡単な軽作業専門で、仕事の内容は、高齢家庭の清掃・家具移動、成田山の正月やイベントの対応、講習会などの準備片付け、花の抜根、自転車競技の会場スタッフ、パレット修理といったようなものです。この一年を振り返ってみると、週一ペースで約20種類の仕事に就いていました。

現役時代は道路作り一筋でしたが、シルバーでは様々な職業や職場を体験。中には身体にきつい仕事もあり

ますが、お客様からいただく「助かりましたー」の一言で疲れも汗も吹っ飛びます。こうして多くの人の喜ぶ声を聞くと、自分の仕事が多く人の役に立っているということを実感します。以前センターの広報紙で「役立ちがい」という言葉を目にしましたが、自分にとって、シルバーで仕事をした後の充実感はこの言葉にはないかと思います。

シルバーの就業のないときは、趣味やボランティア活動をしています。家内の送迎ついでに引きずり込まれたお人形作りサークルと介護予防のボランティア団体に所属しています。どちらも元気な妙齢の女性ばかり。シルバーの仕事でも高齢の独居女性からの掃除や片付けなどの依頼が多く、最近では、世の中女性で成り立っているとつくづく思うようになりました。

ボランティア活動では、福祉施設に行き簡単な修理やニワトリ小屋、倉庫作りなどの大工作業も手伝いました。この時の経験が、今のシルバーの仕事で役立つこともあり驚いています。この他にも、高齢者の介護予防活動を公民館などで行っていますが、人のためというよりも、これから先の自分自身のためであることは言うまでもありません。

## サークル活動 NSJC旅行会

昨年10月の第1回に続く今回は「北関東小さな旅」花と渓谷巡り」と題し、4月28日、あしかがフラワーパーク(栃木県)と渡良瀬渓谷(群馬県)へ出かけました。

あしかがフラワーパーク園内には80メートルもある満開の白藤のトンネルや有名な大藤が見頃を迎えていました。今年は暑さのせい、5月上旬から咲き始める「きばな藤」も既に満開となっていました。



入園まえに記念撮影

十分にフラワーパークを満喫した後は、わたらせ渓谷鐵道大間々駅(みどり市)へ。ここから上流にある



渓谷沿いに走るトロッコ列車

足尾銅山の通洞駅までは渡良瀬渓谷を行くトロッコ列車の旅です。

列車の中ではさわやかな風を受けながら名物、「やまと豚弁当」に舌鼓。渓谷の景色は美しく、トンネルの中では、天井のイルミネーションが点灯し幻想的な雰囲気も。一時間半の列車の旅を終え、最後の目的地、草木湖(みどり市)のほとりに建つ富弘美術館へ。

不慮の事故に遭い、若くして手足の自由を失った星野富弘さんの作品が展示してあります。口を使って描かれた作品は絵と文字で構成されていて、その作品は心に響くものばかりでした。

今回は花と渓谷巡りコースということも多く、女性会員が参加されとても賑やかな旅となりました。これからも会員が楽しく参加できる旅行を企画していく予定です。

## わたしの趣味 —化石収集—

勝田 健司 会員 (中台)

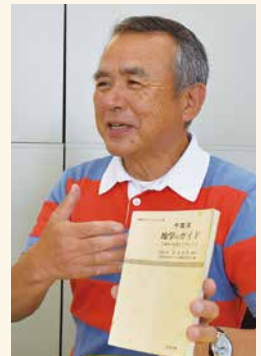
わたしが化石収集を始めたのは今から40年以上も前で、神田の書店で「千葉県地学ガイド」を購入したのがきっかけです。高校生の時から地学が好きでしたが、この本で埼玉県の秩父古生層(中生代・基盤岩類)が銚子の愛宕山につながっていることを知ってからは毎週銚子へ化石を見つけに行くようになり



採取した琥珀

ました。集めた化石は白亜紀(7000万年～1億2000万年前)のものでアンモナイト、琥珀、トリゴニア、二枚貝、シダ、石炭などです。化石の魅力はその当

時の自然条件(気候・地形など)が目に見えてくることです。銚子では暖かい気候に適したシダやソテツ等の化石が見ついているため白亜紀に生息していた恐竜もいたのではと思います。これはわたしの夢なのですが、是非銚子で恐竜の化石を見つけてみたいと思っています。その時に発見者として恐竜に自分の名前が付いたらなお最高ですね。



※現在は「銚子ジオパーク」と認定され化石等の採取は禁止されています。

## 事業実施状況報告

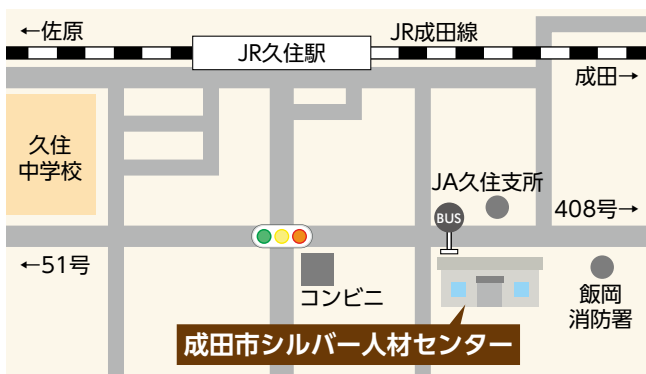
事業実績報告		平成28年度	平成29年度
会員数	男	388人	392人
	女	100人	104人
	合計	488人	496人
就業実人員		479人	481人
就業率		98.2%	97.0%
受託件数	公共機関	528件	559件
	民間企業	926件	888件
	一般家庭	2,058件	2,018件
	合計	3,512件	3,465件
契約金額		234,437千円	232,668千円

### 契約金額は若干減

昨年度と比較すると会員数は全体で8名の増となりましたが、女性会員は全体の20.9%となっており、今後、育児・介護分野の就業開拓をするうえでの課題となっています。

民間企業もコスト削減のために除草や清掃などを社内対応するところもあり、契約金額は1,768,114円の減になりました。

梅雨明けからお盆にかけては除草作業や植木の剪定の受注が非常に多く、1～2カ月待ちの状態が続きました。



編集・発行 公益社団法人 成田市シルバー人材センター 広報部会  
 〒286-0819 成田市久住中央1丁目12番地3  
 TEL 0476-36-6161 FAX 0476-36-6711  
<http://webc.sjc.ne.jp/narita/index>  
 E-mail: narita@sjc.ne.jp

〈受付時間〉  
 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分  
 (土日・祝日、年末年始除く)



## 編集後記

今回の特集は除草班。うまい見出しが思い浮かばず苦勞の末によく「雑草退治」というフレーズにたどり着きました。2ページ目の写真は作業に入る前の除草班員の面々。さながらW杯サッカーの試合前に行われる選手の記念撮影といったところです。大きな現場では、このように男女がチームを組んで作業に当たります。この日も気心の知れた会員同士が、手際よく無事に作業を終了しました。取材後は、我が家の除草に汗流しましたが、こちらは夫婦二人だけの「除草班」。つつい妻の仕事に注文を付けてしまい結果はご想像のとおり作業中断。なかなかシルバー除草班のように行きません。